

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 株式会社ショーワ 上場取引所 東  
 コード番号 7274 URL <https://www.showa1.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉山 伸幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関口 誠 TEL 048-554-1151  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	135,374	△3.1	13,442	△0.1	12,886	△3.6	9,321	△8.6	7,593	△7.4	5,681	△50.6
2019年3月期第2四半期	139,676	△0.6	13,454	16.9	13,372	9.4	10,204	17.5	8,196	19.0	11,511	5.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	99.96	—
2019年3月期第2四半期	107.90	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	204,185	128,139	116,415	57.0
2019年3月期	210,275	126,534	113,316	53.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
2020年3月期	—	24.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2019年10月30日）公表いたしました「2020年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,000	△5.5	27,000	△10.4	26,800	△10.6	20,600	△11.2	16,200	△15.0	213.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	76,020,019株	2019年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	54,408株	2019年3月期	54,348株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	75,965,630株	2019年3月期2Q	75,965,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料等については、TDnet及び当社ホームページで開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(6) 会計方針の変更 .....	12
(7) セグメント情報 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日までの6ヶ月間)の売上収益につきましては、為替換算の影響による減少並びにステアリング製品及び二輪車用製品の販売が減少し、135,374百万円と前年同四半期に比べ4,302百万円(3.1%)の減収となりました。営業利益は為替影響及び売上変動構成変化等による減少はあったものの、原価低減効果等の増加により、前年同四半期並みの13,442百万円となりました。税引前四半期利益は12,886百万円と前年同四半期に比べ486百万円(3.6%)の減益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,593百万円と前年同四半期に比べ602百万円(7.4%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### <二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にアジア及び日本における販売の減少により、全体で減少しました。

二輪・汎用事業の売上収益は、二輪車用製品の販売が減少したことにより、40,486百万円と前年同四半期に比べ1,609百万円(3.8%)の減収となりました。営業利益は、5,755百万円と前年同四半期に比べ185百万円(3.3%)の増益となりました。

#### <四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主に中国における販売の増加により、全体で増加しました。

四輪事業の売上収益は、四輪車用製品の販売が増加したものの、構成変化等による影響で、43,494百万円と前年同四半期に比べ1,198百万円(2.7%)の減収となりました。営業利益は、2,824百万円と前年同四半期に比べ490百万円(14.8%)の減益となりました。

#### <ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に日本及びアジアにおける販売の減少により、全体で減少しました。

ステアリング事業の売上収益は、ステアリング製品の販売が減少したことにより、43,589百万円と前年同四半期に比べ1,683百万円(3.7%)の減収となりました。営業利益は、4,917百万円と前年同四半期に比べ1,730百万円(26.0%)の減益となりました。

#### <ガスピリング事業>

ガスピリング事業の売上収益は、1,337百万円と前年同四半期に比べ266百万円(16.6%)の減収となりました。営業損失は、294百万円(前年同四半期は営業損失159百万円)となりました。

#### その他

その他の売上収益は、6,467百万円と前年同四半期に比べ455百万円(7.6%)の増収となりました。営業利益は、294百万円と前年同四半期に比べ111百万円(60.9%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、204,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,089百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は123,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,297百万円減少しました。これは主に、営業債権及びその他の債権並びに現金及び現金同等物が減少したことによるものです。

<非流動資産>

非流動資産は81,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加しました。これは主に、その他が減少したものの、有形固定資産が増加したことによるものです。

<流動負債>

流動負債は58,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,630百万円減少しました。これは主に、引当金並びに営業債務が減少したことによるものです。

<非流動負債>

非流動負債は17,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ936百万円増加しました。これは主に、長期従業員給付並びに繰延税金負債が減少したものの、長期有利子負債が増加したことによるものです。

<資本>

資本は128,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,605百万円増加しました。これは主に、その他の資本の構成要素並びに非支配持分が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,470百万円減少し、48,338百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、10,328百万円(前年同四半期比37.8%減)となりました。主な増加は、税引前四半期利益12,886百万円、減価償却費及び償却費4,392百万円であり、主な減少は、製品保証引当金の増減額4,533百万円、法人所得税の支払額3,645百万円です。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、4,593百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。主な減少は、有形固定資産の取得による支出5,112百万円です。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、6,332百万円(前年同四半期比17.2%減)となりました。主な減少は、非支配持分株主への配当金の支払額3,880百万円、配当金の支払額1,441百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2019年4月1日から2020年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、2019年7月26日に公表いたしました連結業績予想を以下のとおり変更しました。

## 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 276,000	百万円 27,000	百万円 27,300	百万円 21,200	百万円 17,000	円 銭 223.79
今回修正予想(B)	271,000	27,000	26,800	20,600	16,200	213.25
増減額(B-A)	△5,000	—	△500	△600	△800	
増減率(%)	△1.8	—	△1.8	△2.8	△4.7	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期通期)	286,692	30,142	29,963	23,187	19,052	250.80

為替レートは通期平均で、1米ドル=107円、1人民元=15.3円を前提としています。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	49,809	48,338
営業債権及びその他の債権	40,515	37,522
その他の金融資産	1,061	844
棚卸資産	34,247	33,165
その他	3,821	3,287
流動資産合計	129,455	123,158
非流動資産		
有形固定資産	61,618	62,697
投資不動産	536	536
無形資産	3,560	3,751
持分法で会計処理されている投資	5,256	4,959
その他の金融資産	4,097	4,197
繰延税金資産	1,773	1,717
その他	3,977	3,168
非流動資産合計	80,819	81,026
資産合計	210,275	204,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期有利子負債	1,557	2,044
営業債務	30,166	26,316
その他の金融負債	9,586	7,754
未払法人所得税	1,428	1,443
短期従業員給付	7,767	7,943
引当金	13,241	8,699
その他	3,434	4,348
流動負債合計	67,182	58,551
非流動負債		
長期有利子負債	3,995	6,204
長期従業員給付	7,586	6,918
引当金	722	659
繰延税金負債	3,787	3,248
その他	466	462
非流動負債合計	16,558	17,494
資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,420	13,420
利益剰余金	85,502	91,653
自己株式	△55	△55
その他の資本の構成要素	1,749	△1,300
親会社の所有者に帰属する持分	113,316	116,415
非支配持分	13,218	11,723
資本合計	126,534	128,139
負債及び資本合計	210,275	204,185

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	139,676	135,374
売上原価	△107,447	△103,841
売上総利益	32,228	31,532
販売費及び一般管理費	△16,750	△18,220
その他の収益	365	494
その他の費用	△2,389	△363
営業利益	13,454	13,442
金融収益	315	330
金融費用	△582	△1,012
持分法による投資損益	184	124
税引前四半期利益	13,372	12,886
法人所得税	△3,168	△3,564
四半期利益	10,204	9,321
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	8,196	7,593
非支配持分	2,007	1,727
合計	10,204	9,321
基本的1株当たり四半期利益(単位：円)	107.90	99.96

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	10,204	9,321
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	△124	△117
純損益に振替えられることのない項目の合計	△124	△117
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,548	△3,265
持分法適用会社に対する持分相当額	△116	△256
純損益に振替えられる可能性のある項目の合計	1,431	△3,521
その他の包括利益合計(税引後)	1,307	△3,639
四半期包括利益	11,511	5,681
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	9,740	4,542
非支配持分	1,771	1,138
合計	11,511	5,681

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素 その他の包括利益を通じて測定される金融資産
期首残高	12,698	13,417	68,679	△54	2,488
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	8,196	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△124
四半期包括利益合計	—	—	8,196	—	△124
所有者との取引等					
配当	—	—	△911	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—
所有者との取引等合計	—	—	△911	△0	—
期末残高	12,698	13,417	75,964	△55	2,364

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△1,153	1,335	96,075	13,582	109,658
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	8,196	2,007	10,204
その他の包括利益	1,667	1,543	1,543	△236	1,307
四半期包括利益合計	1,667	1,543	9,740	1,771	11,511
所有者との取引等					
配当	—	—	△911	△2,844	△3,756
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
所有者との取引等合計	—	—	△912	△2,844	△3,756
期末残高	514	2,879	104,903	12,509	117,413

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素 その他の包括利益を通じて測定される金融資産
期首残高	12,698	13,420	85,502	△55	2,023
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	7,593	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△117
四半期包括利益合計	-	-	7,593	-	△117
所有者との取引等					
配当	-	-	△1,443	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-
所有者との取引等合計	-	-	△1,443	△0	-
期末残高	12,698	13,420	91,653	△55	1,905

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△273	1,749	113,316	13,218	126,534
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	7,593	1,727	9,321
その他の包括利益	△2,933	△3,050	△3,050	△588	△3,639
四半期包括利益合計	△2,933	△3,050	4,542	1,138	5,681
所有者との取引等					
配当	-	-	△1,443	△2,633	△4,076
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
所有者との取引等合計	-	-	△1,443	△2,633	△4,076
期末残高	△3,206	△1,300	116,415	11,723	128,139

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	13,372	12,886
減価償却費及び償却費	4,449	4,392
減損損失	5	2
金融収益及び金融費用	△203	△176
持分法による投資損益(△は益)	△184	△124
有形固定資産除売却損益(△は益)	38	△64
独占禁止法関連損失	2,101	55
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,070	127
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	4,358	1,899
営業債務の増減額(△は減少)	△821	△3,282
従業員給付の増減額(△は減少)	558	△327
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,612	△4,533
その他	1,891	2,689
小計	19,882	13,544
利息の受取額	254	236
配当金の受取額	194	225
利息の支払額	△42	△33
法人所得税の支払額	△3,691	△3,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,598	10,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の金融資産の売却又は償還による収入	361	1,172
その他の金融資産の取得による支出	△618	△911
有形固定資産の売却による収入	188	684
有形固定資産の取得による支出	△3,198	△5,112
その他	△413	△426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,680	△4,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△911	△1,441
非支配持分株主への配当金の支払額	△4,003	△3,880
短期有利子負債の純増減額(△は減少)	△2,298	156
長期有利子負債の返済による支出	△438	△1,167
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,652	△6,332
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	393	△873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,659	△1,470
現金及び現金同等物の期首残高	38,583	49,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,242	48,338

## (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (6) 会計方針の変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースの認識に関する会計処理の改訂

契約がリースであるか否か又は契約にリースが含まれているか否かについては、法的にはリースの形態をとらないものであっても、契約の実質に基づき判断しています。

リース開始日において、使用権資産は取得原価で、リース負債は同日現在で支払われていないリース料の現在価値で測定しています。使用権資産の取得原価は、リース負債の当初測定額、当初直接コスト、前払リース料等の調整額、契約に基づき要求される原状回復義務等のコストで構成されています。また、リース料の現在価値を算定する際に使用する割引率には、リースの計算利率又は借手の追加借入利率を使用しています。

開始日後において、使用権資産は原価モデルを適用して測定し、リース期間又は使用権資産の耐用年数のいずれか短い方の期間にわたり定額法により減価償却を行っています。リース料は、リース負債残高に対して一定の利率となるように、金融費用とリース負債残高の返済部分とに配分し、金融費用は連結損益計算書において認識しています。

なお、リース期間が12ヶ月以内に終了するリース及び原資産が少額であるリースについては、当該リースに関連したリース料を、リース期間にわたり定額法又は他の規則的な方法のいずれかにより費用として認識しています。

当社グループは、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している追加借入利率の加重平均は2.5%です。

IFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、実務上の便法を選択し、IAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」という。)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでいます。適用開始日以降は、IFRS第16号の規定に基づき判断しています。

前連結会計年度末においてIAS第17号を適用した解約不能オペレーティング・リース契約と、適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債の調整表は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

解約不能オペレーティング・リース契約の割引後の金額(2019年3月31日)	795
前期末に認識していたファイナンス・リース債務(2019年3月31日)	277
期首に認識した解約可能オペレーティング・リース契約等	2,551
2019年4月1日におけるリース負債	3,624

上記のリース負債は、「短期有利子負債」又は「長期有利子負債」に含めて表示しています。また、適用開始日の要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産4,129百万円を「有形固定資産」に認識しています。これには、IAS第17号に基づいて認識していたリース資産、その他の流動資産及びその他の非流動資産等から振り替えた金額1,671百万円が含まれています。さらに、ファイナンス・リースに分類した使用権資産のサブリースに関連した債権及び前払費用を非流動資産の「その他の金融資産」及び「その他」にそれぞれ282百万円、611百万円追加的に認識しています。結果、IFRS第16号の適用により、従前の会計基準を適用した場合と比べて、適用開始日の要約四半期連結財政状態計算書において、資産合計及び負債合計が3,304百万円増加しています。

なお、当社グループは、IFRS第16号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しています。

- ・適用開始日から12ヶ月以内にリース期間が終了するリースについて、リース期間が12ヶ月以内に終了するリースと同じ方法で処理すること
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外すること
- ・契約にリースを延長又は解約するオプションが含まれている場合にリース期間を算定する際などに、事後的判断を使用すること

## (7) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基に決定しています。

当社グループは、自動車用部品を主に、輸送用機械の精密機能部品の製造及び販売と、これに関連する事業を営んでおり、製品の用途と特性に応じて「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」、及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントと各報告セグメントごとの主要製品は次のとおりです。

報告セグメント	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、トリムシリンダ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

## 2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業	合計				
外部顧客からの売上 収益	42,095	44,693	45,273	1,603	133,664	6,012	—	139,676	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	42,095	44,693	45,273	1,603	133,664	6,012	—	139,676	
セグメント利益 (△は損失)(注)2	5,570	3,314	6,647	△159	15,372	183	△2,101	13,454	
金融収益及び金融 費用									△267
持分法による投資 損益									184
税引前四半期利益									13,372

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。

3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、区分が不可能な独占禁止法関連損失です。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業	合計				
外部顧客からの売上 収益	40,486	43,494	43,589	1,337	128,906	6,467	-	135,374	
セグメント間の売上 収益	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	40,486	43,494	43,589	1,337	128,906	6,467	-	135,374	
セグメント利益 (△は損失)(注)2	5,755	2,824	4,917	△294	13,203	294	△55	13,442	
金融収益及び金融 費用									△681
持分法による投資 損益									124
税引前四半期利益									12,886

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。  
 2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。  
 3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、区分が不可能な独占禁止法関連損失です。



2019年10月30日

2020年3月期第2四半期連結累計期間

参考資料

連結業績 (IFRS)

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	差異	2019年3月期	2020年3月期	差異		
	前第2四半期 (6ヶ月)実績	当第2四半期 (6ヶ月)実績		前期(通期) 実績	当期(通期) 今回予想			
売上収益	139,676	135,374	△ 4,302	286,692	271,000	△ 15,692		
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	40,071	38,550	△ 1,520	82,078	77,832	△ 4,246
		ボート用製品	2,023	1,935	△ 88	4,289	3,784	△ 504
		計	42,095	40,486	△ 1,609	86,367	81,616	△ 4,750
	四輪事業	ショックアブソーバ	32,255	31,435	△ 819	65,660	62,725	△ 2,934
		駆動系	12,437	12,059	△ 378	25,092	24,094	△ 997
	計	44,693	43,494	△ 1,198	90,752	86,819	△ 3,932	
	ステアリング事業	45,273	43,589	△ 1,683	94,045	87,576	△ 6,468	
	ガススプリング事業	1,603	1,337	△ 266	2,940	2,545	△ 394	
その他	6,012	6,467	455	12,587	12,441	△ 145		
営業利益	13,454	13,442	△ 12	30,142	27,000	△ 3,142		
事業別	二輪・汎用事業	5,570	5,755	185	12,679			
	四輪事業	3,314	2,824	△ 490	7,174			
	ステアリング事業	6,647	4,917	△ 1,730	12,766			
	ガススプリング事業	△ 159	△ 294	△ 134	△ 881			
	その他	183	294	111	504			
	全社	△ 2,101	△ 55	2,045	△ 2,101			
税引前利益	13,372	12,886	△ 486	29,963	26,800	△ 3,163		
当期利益	10,204	9,321	△ 882	23,187	20,600	△ 2,587		
親会社の所有者に帰属する当期利益	8,196	7,593	△ 602	19,052	16,200	△ 2,852		
基本的1株当たり当期利益	円 銭 107.90	円 銭 99.96	円 銭 △ 7.94	円 銭 250.80	円 銭 213.25	円 銭 △ 37.55		
営業利益増減要因	1,944	△ 12		4,845	△ 3,142			
売上変動構成変化等	△ 345	△ 479		△ 2,838	△ 2,056			
原価低減効果等	1,285	866		2,842	2,074			
労務費(ベースアップ影響)	△ 506	△ 538		△ 954	△ 992			
研究開発費	△ 400	△ 160		△ 845	△ 771			
販管費・その他収益費用	2,142	829		7,727	△ 35			
為替影響 ※	△ 232	△ 530		△ 1,086	△ 1,363			
設備投資	3,098	4,179	1,081	8,231	14,379	6,148		
減価償却費	4,449	4,392	△ 57	8,818	8,826	7		
総資産	203,469	204,185	716	210,275				
資本合計	117,413	128,139	10,726	126,534				

※ 営業利益増減要因の各項目の金額は、前期の為替レートで換算しており、当期の為替レートによる換算との差(換算差)は「為替影響」に含めています。

個別業績 (日本基準)

(単位:百万円)

	2020年3月期	2020年3月期	差異	2019年3月期
	当期(通期) 前回(7/26)予想	当期(通期) 今回予想		前期(通期) 実績
売上高	103,500	99,700		111,035
営業利益	4,000	2,300		7,165
経常利益	17,600	16,200		21,180
当期純利益	15,800	14,800		17,574